

2023 年 5 月 24 日

関東ラグビーフットボール協会

理事長 大原 俊一 様

関西ラグビーフットボール協会

理事長 松原 忠利 様

九州ラグビーフットボール協会

理事長 御領園 昭彦 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会

専務理事 岩淵 健輔

安全対策委員長 齋藤 守弘

## スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について(通達)

### 【安全対策】

平素は日本ラグビーの普及発展に多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。  
この度、スポーツ庁より「スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について」と題する通知が発出されたのを受け、日本協会からも、脳脊髄液減少(漏出)症への注意喚起をさせていただきたく、通達にて周知させていただきます。

今回の通達は、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛(立位によって増強する頭痛)などの頭痛等、様々な症状を呈する脳脊髄液減少(漏出)症と呼ばれる疾患について、適切な対応及び早期受診の必要性を広く周知することを目的としております。スポーツに関わる指導的立場の方々をはじめとして、脳脊髄液減少(漏出)症について知っていただくことで、早期受診などの適切な対応へとつなげられると考えております。

なお、当通達についての問い合わせは、日本協会安全対策委員会委員長の齋藤までお願いいたします。(連絡先 [m.saito@rugby-japan.or.jp](mailto:m.saito@rugby-japan.or.jp))

■通達対象:都道府県協会、都道府県協会安全対策委員長、都道府県協会メディカル委員長/医務委員長、加盟チーム

■文書作成・問い合わせ先:日本ラグビーフットボール協会 安全対策委員会、テクニカルサービス部門

以上

### 添付資料

- ・ 【スポーツ庁資料①】 スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について
- ・ 【スポーツ庁資料②】 スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について
- ・ 【スポーツ庁資料③】 脳脊髄液減少症チラシ兼ポスター

公益財団法人日本オリンピック委員会事務局  
公益財団法人日本スポーツ協会事務局  
公益財団法人日本パラスポーツ協会事務局

御中

スポーツ庁健康スポーツ課

### スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について

スポーツ事故の防止と事故後の適切な対応については、かねてから御協力をいただいているところで

です。スポーツ活動中に頭頸部や背部等の外傷等が発生することがありますが、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少（漏出）症とよばれる疾患が起こることがあります。

このため、スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、水分補給や横に寝て安静を保つこと、また、医療機関で受診をさせたり、家族に連絡して医療機関の受診を促すなどの適切な対応が早期に行われるよう、加盟・登録団体その他の関係機関に対して、本件を周知するようお願いします。

また、「脳脊髄液漏出症」については、早期の受診が望まれます。安静と水分補給で改善しない場合は硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ）\*1（保険適用の対象）という治療法が選択される場合もあります。保険診療として治療を受けるためには、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくよう、併せ周知をお願いします。

なお、各都道府県・指定都市のスポーツ主管課に対して、「スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について」（別添）のとおり通知しましたので、お知らせします。

\*1 ご本人の血液を硬膜の外側に注入し、その血液で硬膜の漏出部位を塞ぐ方法。

参考資料：チラシ兼ポスター「スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について」

**【本件担当】**

スポーツ庁健康スポーツ課  
担当：福島、近藤  
アドレス：kensport@mext.go.jp  
電話：03-5253-4111(内線4140)

各都道府県スポーツ主管課  
各指定都市スポーツ主管課  
御中

スポーツ庁健康スポーツ課

### スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について

スポーツ事故の防止と事故後の適切な対応については、かねてから御協力をいただいているところです。

スポーツ活動中に頭頸部や背部等の外傷等が発生することがありますが、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少（漏出）症とよばれる疾患が起こることがあります。

この疾患への適切な対応については、文部科学省より各都道府県・指定都市教育委員会の学校安全主管課等に対し、「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について」（平成29年3月21日付事務連絡）<sup>\*1</sup>が発出されておりますが、学校以外においても、スポーツ外傷等によって脳脊髄液減少（漏出）症が起こることがあります。

このため、スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、水分補給や横に寝て安静を保つこと、また、医療機関で受診をさせたり、家族に連絡して医療機関の受診を促すなどの適切な対応が早期に行われるよう、関係機関・団体・施設等に対して、本件を周知するようお願いいたします。また、各都道府県におかれては、域内の市区町村のスポーツ主管課に対して、本件を周知するようお願いいたします。

なお、「脳脊髄液漏出症」については、早期の受診が望まれます。安静と水分補給で改善しない場合は硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ）<sup>\*2</sup>（保険適用の対象）という治療法が選択される場合もあります。保険診療として治療を受けるためには、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくよう、併せ周知をお願いいたします。

\*1 文部科学省 HP 「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について」（平成29年3月21日付事務連絡）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1394050.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1394050.htm)

\*2 ご本人の血液を硬膜の外側に注入し、その血液で硬膜の漏出部位を塞ぐ方法。

参考資料：チラシ兼ポスター「スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について」

**【本件担当】**

スポーツ庁健康スポーツ課

担当：福島、近藤

アドレス：kensport@mext.go.jp

電話：03-5253-4111(内線4140)

# スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について

## ① 脳脊髄液減少 (漏出) 症



スポーツ活動中に頭頸部や背部等の外傷等が発生することがありますが、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、**起立性頭痛**（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、**頸部痛**、めまい、倦怠、不眠、**記憶障害**など様々な症状を呈する脳脊髄液減少（漏出）症とよばれる疾患が起こることがあります。



## ② 早期の適切な対応



スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、**水分補給**や**横に寝て安静を保つ**こと、また、**医療機関で受診**をさせたり、家族に連絡して医療機関の受診を促すなどの**適切な対応**が**早期に行われることが重要**です。



## ③ 受診

「脳脊髄液漏出症」については、早期の受診が望まれます。安静と水分補給で改善しない場合は硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ）\*1（保険適用の対象）という治療法が選択される場合もあります。

保険診療として治療を受けるためには、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくようお願いいたします。

\*1 ご本人の血液を硬膜の外側に注入し、その血液で硬膜の漏出部位を塞ぐ方法。

